

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和2年2月1日

新年安全衛生推進大会を開催！健康経営の勧めを辻教授が講演

令和2年1月9日 建設業新年安全衛生推進大会が、宮城県建設産業会館1階大会議で、約250名が参加して開催されました。代田宮城労働局長、金子宮城県土木部技監兼次長、田中建災防本部専務理事の祝辞に続き、西村宮城労働局健康安全課長が行政説明を行いました。

その後、東北大学大学院医学系教授辻一郎先生に「中高年労働者が生き生き安全に働くために～健康経営の勧め」と題してご講演をいただきました。

辻先生からは、建設業労働者の健康状態や加齢による心身機能の低下、さらに、従業員の健康に投資することは、企業経営としても必要不可欠であり、企業ブランドとして若者へのアピール等インセンティブも期待できることをご説明いただきました。

そして、「知らず知らずのうちに健康になれる職場」をめざして「スモールステップ」～できることから始める健康経営の具体的進め方を御教示いただきました。



宮城県内労働災害（建設業関係）の発生状況（令和元年12月末現在）

宮城労働局発表より

業種	平成29年 全期		平成30年 全期(確定値)		平成30年 12月末		令和元年 12月末		前年同月比較			
	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	
									増減数	増減率 %	増減数	増減率 %
全産業計	2385	17	2589	23	2368	21	2182	17	-186	-7.9	-4	-19.0
建設業	350	5	336	7	315	7	332	7	+17	+5.4		
土木工事業	123	2	123	2	120	2	104	4	-16	-13.3	+2	+100.0
建築工事業	179	3	156	3	143	3	179	3	+36	+25.2		
鉄骨・コンクリート造 家屋建築工事業	48	2	43	2	34	2	44	1	+10	+29.4	-1	-50.0
木造家屋建築工事業	86		54		49		79	2	+30	+61.2	+2	
建築設前工事業	17	1	18	1	16		19		+3	+18.8		
その他の建築工事業	28		41		44	1	37		-7	-15.9	-1	-100.0
その他の建設工事	48		57	2	52	2	49		-3	-5.8	-2	-100.0

災害件数は令和元年12月末までに発生し、報告のあった労働者死傷病報告(休業4日以上)により計上しています。死亡件数は内数となっています。

職場の感染症対策の周知徹底を！

中国で発生した新型コロナウイルスによる肺炎は予断を許さない状況となっていますが、通常のインフルエンザと同様の予防措置の徹底を図ることが、まず求められています。職場における感染予防のポイントをご説明します。

なお、厚生労働省のホームページには、「事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン」等が掲載され、詳しく解説されていますので、参照してください。

職場等における感染予防のポイント

【従業員の取組】

●こまめな手洗いを心がけましょう

- 手洗いは流水と石けんで15秒以上行い、水分を十分にふき取りましょう。
- 手が洗えない場合、手指消毒用アルコール製剤による消毒も効果があります。

●顔を触らないようにしましょう

- 手に付着したウイルスが目・口・鼻の粘膜から体内に入らないよう、手で顔を触らないようにしましょう。

●人ごみを避けましょう

- 外出する場合は、公共交通機関のラッシュの時間を避ける等、人ごみに近づくことは避けましょう。
- 症状のある人（咳やくしゃみなど）に接触した場合は、手洗いなどを行いましょう。

●「咳エチケット」を意識しましょう

- 咳やくしゃみが出るときは、マスク等で口や鼻を覆うなどの「咳エチケット」を心がけましょう。



【事業者の取組】

●従業員に感染症予防に関する教育・情報提供をおこないましょう

●感染予防に必要な備品・環境を整備しましょう

- 手指消毒薬を設置、手洗い場に石けん・ペーパータオル等を備えるなど、衛生状態を保つための備品・環境を整備しましょう。
- 手指消毒薬は使用期限に注意しましょう。

●人がよく触れる場所を清掃・消毒しましょう

- 人がよく触れる場所（ドアノブ、スイッチ、階段の手すり、エレベーターの押し等）を清掃・消毒しましょう。

建災防宮城県支部 HP



建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax022-265-5604